

平成30年(2018年)6月1日発行

2018年度 学部学科改編

3学部6学科体制スタート

基礎力を磨く教育システムと支援体制を拡充 「技術で価値を創造できる人材」を育成

基幹工学科

- 機械工学科
電気電子通信工学科
応用化学科

先進工学科

- ロボティクス学科
情報メディア工学科

建築学部

- 建築学科
建築コース
生活環境デザインコース

今回の学部学科改編に... 学生の個性や能力の多様化に対応する

「英語」については入学時のプレースメントテストに基づき個人の学力・履修履歴に合わせた「習熟度別クラス編成」を行った。更にきめ細やかな段階的履修を行うため、これらの科目では従来の「2学期制」から、「クォーター制(4学期制)」を導入し、週2回の授業を通じて確実に

基礎力を着実に身につけるための新たな教育システムとして、工学の基礎となる「数学」「物理」「英語」については入学時のプレースメントテストに基づき個人の学力・履修履歴に合わせた「習熟度別クラス編成」を行った。更にきめ細やかな段階的履修を行うため、これらの科目では従来の「2学期制」から、「クォーター制(4学期制)」を導入し、週2回の授業を通じて確実に

また、授業で理解しにくい内容などについては、気軽に相談に応じられるように学修支援センターを中心とした支援体制が確立されている。

さらに、小テストやオンライン教材、問題集を使って繰り返し学ぶことで、自己学習の習慣が身に付き、効果的な学習ができる体制が整えられている。

に学力を伸ばすことができると期待している。

講義棟 建設工事進行中
新たな教育の拠点として、12月竣工



セントラルスクエアからの全景(完成イメージ)

講義棟は今年度から始まった新しい学部学科体制のもと、新たな教育システムの拠点となる地上7階建の新校舎。フロア構成は1~2階がアクティブ・ラーニング(能動的学習)のためのスペースのほか英語教育や学修支援などの各種センター、3~6階が多様な講義形態に対応できる講義室、7階が多目的ルームとなっている。

大学設立50周年記念建設事業の第2期工事として建設工事が進められており、5月末現在、鉄骨柱や梁の骨組みが完了し外壁部材の取付作業などが行われている。竣工は12月末を予定している。

4月10日、ダイニングホール(学生食堂)において、2018年度の学業奨励奨学金および大川陽康奨学金の認定証授与式が行われた。

学業奨励奨学金は各学科の成績優秀者の中から特に優れたエクセレント・スチューデント(ES)に年額50万円、それに準ずるリマカナル・スチューデント(RS)に年額20万円の授業料減免を行うものである。今年度の受給者数は、ESが36名、RSが75名(受給者リストは212号に掲載)。大川陽康奨学金は、本学園名譽理事長である大川陽康先生の寄付



認定証を授与された4学年の学生

学業奨励奨学金、大川陽康奨学金
学生の規範となる135名に認定証を授与

により設けられた基金により大学院生を対象に授業の減免を行うもので、今年度の受給者数は24名。認定証授与式では奨学生一人ひとりに認定証が授与された。成田学長は奨学生に対し「諸君は成績優秀かつ人物的にも優れ、日本工業大学を代表する学生として認定されている。誇りと自覚を持って本学学生の規範となしてほしい」と期待を込めた。続いて竹内貞雄学生支援部長は「この成功体験に誇りと自覚を持ち、今後も引き続き努力してほしい」と激励した。式後には学年ごとに奨

2019年度入試情報

2019年度の入試概要や変更点、奨学金制度は左記のとおり(詳細は各募集要項を参照)。

◆特別奨学生入試

新学部で展開する専門教育においては、これまでの本学の特色である「実工学教育」を継承し発展させて、「技術で価値を創造できる人材」を新たな育成すべき人材像とし、これからの社会が求める変化に柔軟に対応できるだけでなく、新しい社会変化を生み出し、発進を続ける工業技術を生産にわたって学び続ける能力を備えた人材を育成する教育を行っている。

◆特別奨学生入試

2019年度の入試概要となる。昨年度は32名の方が認められた。特に優秀な方(特待生)には、前述の1年目の授業料全額免除に加え、2年目から4年目の授業料の半額免除、毎月4万円支給の特典が与えられる。

◆特別奨学生入試

出願資格は工業科卒業見込みで評定平均値4.3以上の方。入学は工業科卒業見込みで評定平均値4.3以上の方。

◆特別奨学生入試

AO入試実施回数変更 昨年度全4期実施を今年度は全3期に変更。

◆特別奨学生入試

3月入試(志願学科変更) 今年度から第3志願学科・コースまで選択可能。

◆特別奨学生入試

特別入試奨学金の給付 今年度新設の制度で、一般入試A合格者のうち各学科・コースの成績上位5%の方が対象となる。各学科・コース1位の方に1年目の授業料全額免除、2位以下の方に1年目の授業料半額免除、入学手続締切日延長の特典が与えられる。

◆特別奨学生入試

入試奨学金の給付 1年目の学費減免の形で年額20万円を給付。一般入試、センター利用入試、一般推薦入試(公募制)、専門高校入試(S工業科・B工業科)合格者のうち、入試の成績が優秀で学業の伸びが期待



2019大学案内 じっくりコツコツ実工学

2019年4月、3学期開始に備え、2019年度大学案内(ガイドブック)を編纂し、5月1日より印刷・配布を開始しました。大学案内は、入学準備や学業に関する様々な情報を掲載し、学生生活のサポートに貢献しています。大学案内の発行は、学生生活のサポートに貢献しています。大学案内の発行は、学生生活のサポートに貢献しています。

新学部・学科 オープンキャンパス

- 6/3日 7/14土
8/4土・5日
8/25土 9/9日
2019 3/23土

お問合わせ・お申込み先: 教務部入試室 ☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp 詳細はWEBサイトでご確認ください

東武動物公園駅 副駅名称表示



今春より、東武スカイツリーライン東武動物公園駅に6か所設置されている駅名標版において、副駅名称「日本工業大学前」が表示されている。駅利用者や周辺住民に対し、本学の認知度向上を図っていく。

NITトレインラボ

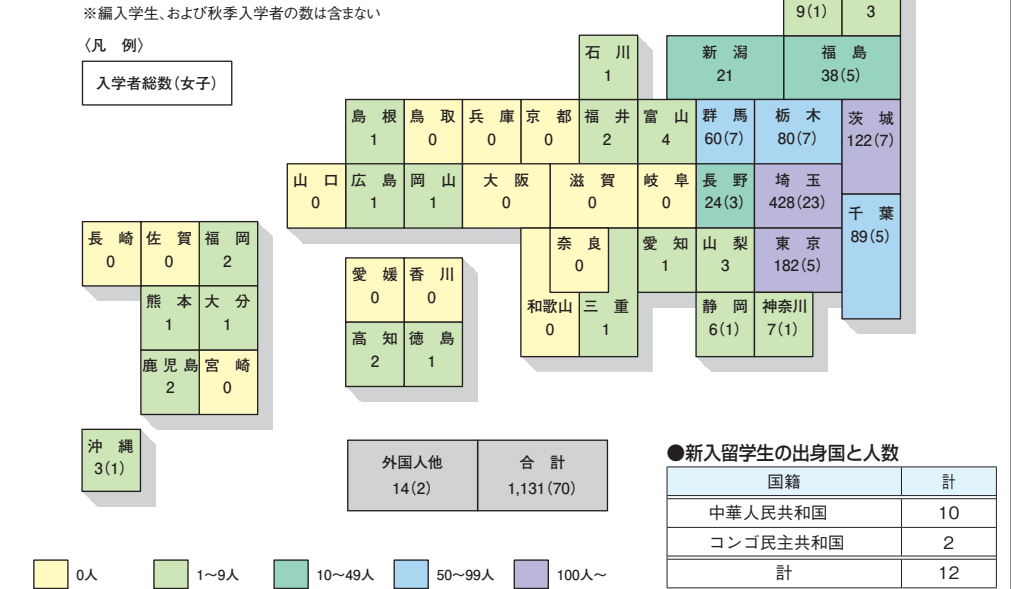
本学教員の研究内容を電車の「ドア横ポスター」で毎月紹介しています 5月中旬~9月中旬 東武線・東急線の本線



# 新入生の出身地マップ

## 33都道府県から1,131名が入学

新3学部の第1期生となる平成30年度都道府県別入学人数が確定した。総入学人数は1,131名（入学定員は1,000名）、うち女子学生は70名である。入学者は全国33都道府県から集まっており、都道府県別では、昨年に続き埼玉がトップで428名。次いで東京182名、茨城122名、千葉89名、栃木80名となっている。



●新入留学生の出身国と人数

国籍	計
中華人民共和国	10
コンゴ民主共和国	2
計	12



交流会はランチをとりながら行われた

### 新入女子学生を対象としたセミナーと交流会を開催

4月4日、今春入学した女子学生を対象とした防犯セミナー、交流会が催された。新入女子学生たちが大学生活に一日でも早く慣れることができよう、毎年開催している。

今年で2回目となる防犯セミナーでは、埼玉県警察本部防犯指導班の担当者から女子学生たちに対する、日常的な防犯対策と護身術に関する指導が行われた。近年の社会問題となっており「歩きスマホ」の危険性を体験する実演指導を受けた学生たちは、至近距離に人が近づくまで気が付かない怖さを実感していた。

その後は学部ごとに分かれ、昼食を取りながら新入生と先輩女子学生が懇親を深めた。新入生にとっては、学生生活や委員会・クラブ活動などに關して、先輩から直接アドバイスを受けられる貴重な機会となった。

交流会開催意義の説明、先輩の活躍事例紹介とともに、今後の大学生活への激励の言葉が贈られた。

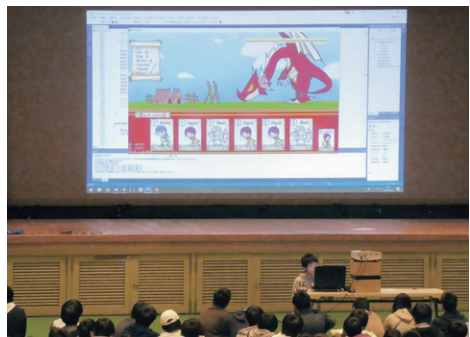
第2食堂に場所を移し、交流会が催された。新入女子学生がほぼ全員となる70名、先輩女子学生25名のほか、大学側から竹内学生支援部長、林総務部長、女子職員9名が参加。交流会開催意義の説明、先輩の活躍事例紹介とともに、今後の大学生活への激励の言葉が贈られた。

良いかということ、メンバーと一緒に話をしてみたい。また自分自身もどうなりたいのかも、頭で考えるだけではなく、一度声に出してみたい。

ナポレオン・ヒルは「思考は現実化する」という著書の中で「願望や目標を明確化することは、それを成就するための出発点である。しかし、100人のうち98人までが、『自分は何をしようか』がわからず、目標にむかって前進しようとはしないのです」と述べています。是非、対話をしながら行動に移し、求める同期・チーム・自分を実現していきましょう。

## 宿泊体験やイベントを通じて新入生が同級生や教員と交流

新入生対象のフレッシュマンキャンプは、クラスメイトや教員と親睦を深めることを目的として入学直後に実施されている。今年は4月5日から1泊2日の日程が組まれた。宿泊先や実施内容は学科・コースごとに企画され、移動中のバスや宿泊施設で履修や大学生活に関するオリエンテーションが行われたほか、施設見学や各種レクリエーションが催された。機械工学科1年のT君は「入学を機に実家を離れ、初めての1人暮らしで不安だったが、キャンプを通じて新しい友人ができ、先生や先輩から色々教えてもらった。参加してよかった」と笑顔で話した。



情報メディア工学科：プログラム作品の紹介



建築学科（建築コース）：喜多方市蔵の里を見学

学科（コース）	宿泊場所	主な実施内容
機械工学科	茨城／潮来ホテル	オリエンテーション
電気電子通信工学科	栃木／ホテルサンシャイン鬼怒川	オリエンテーション
応用化学科	埼玉／本学宮代キャンパス	外部業者による新入生向け研修
ロボティクス学科	埼玉／本学宮代キャンパス	外部業者による新入生向け研修
情報メディア工学科	栃木／鬼怒川パークホテルズ	オリエンテーション
建築学科（建築コース）	福島／国立磐梯青少年交流の家	喜多方市蔵の里見学、喜多方市新本庁舎見学
建築学科（生活環境デザインコース）	茨城／県立さしま少年自然の家	古河歴史博物館見学、カヌー体験

### 専門職大学院だより

## 「対話」による同期の絆づくり

大学院技術経営研究科・教授 萬代 憲司

専門職大学院も4月から35名の新入生を迎えました。例年同様、多様な事業分野・経歴・年齢層となっています。平均年齢は44歳ですが、これらのキャリア構築に重要な1年間になることを期待して、初々しく見えるのも印象的です。

この35名が同期生として1年間を共にしていくわけですが、同期としてより良い関係性を構築するために「対話」が重要です。心理学者のケネス・ガーゲンが「人々

はお互いの言葉のやり取り(対話)の中で『意味』を作っていくのであり、『意味』とは話し手と聞き手の相互作用の結果である」と結論づけ、「言葉が世界を創る」と表現しました。対話はお互いが持っている「意味」を理解・共有していくためのプロセスであり、対話を通じてお互いの関係性を構築できます。

私も多くの組織・チームを見てきましたが、対話も量と質の視点で違いが見られます。例えば、授業で教室に入る際に皆さんは挨拶していますか？ 当たり前と感じられるかもしれませんが、企業でも、出社・帰宅時に何も言わない人がそれなりにいるのが現実です。挨拶はきつかけに過ぎないかもしれませんが、対話を増やすためにも挨拶をしてみてください。

また、対話をしていると相手の価値観を知ることになります。その際には、相手の価値観を尊重することが重要です。イ

ノベーションのためには多様性が重要であり、多様な価値観に好奇心をもって対話をしてみましょう。

質の視点では、肯定的な対話が重要です。周りの会話にちょっと耳を傾けてみてください。これができるいない「あれをしていない」などの否定的な表現が多くありませんか。前述の「言葉が世界を創る」を前提にするとし、100人のうち98人までが、「自分は何をしようか」がわからず、目標にむかって前進しようとはしないのです」と述べています。是非、対話をしながら行動に移し、求める同期・チーム・自分を実現していきましょう。

## 第10回 3D-CADプロダクトデザインコンテスト

### 「動きのある“おもちゃ”」

ものづくりの最先端技術である3次元CADによるデザイン作品のコンテスト。テーマ部門「動きのある“おもちゃ”」、自由デザイン部門、CGアイデア部門で作品を募る。作品送付締切日は9月10日。問合せはnagasaka@nit.ac.jpまで。公式サイト：<https://2c-laboratory.sakura.ne.jp/pdcontest/>



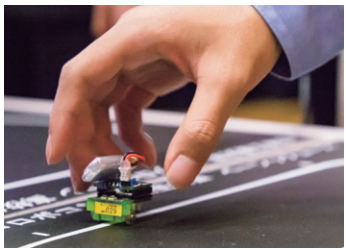
入賞作品は立体造形化される

## 高校生対象のコンテストを実施します

## 第12回 マイクロロボコン高校生大会

### 1インチ角のロボットで競う

1インチ角の小さなロボットを作製し、自律的にコースを走行させ、タイムを競う。9月22日には愛媛県での地方大会を予定しており、12月22日の本大会では全国から本学に高校生が集い、技術を競う。



白線コースの周回タイムで競う

公式サイト：<http://ise.nit.ac.jp/mrc.html>

## 第32回 建築設計競技

### 「4匹目の子ぶたの家」

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計競技。審査員には建築家のヨコミヅマコト氏を迎え、本学建築学部建築学科小川次郎教授、足立真教授が担当する。締切は8月31日。審査結果は9月上旬ホームページ上で発表。公式サイト：<http://nit-kenchiku.jp/activities/>



入賞作品はLCセンターに展示される



※受賞記事は受賞時の学年(2017年度)で表記しています

# 自動車技術会 ベストペーパー賞受賞



システムの後方車群への影響評価」。本研究は自動車の追突リスク低減を目的としている。先行車の減速予見情報を運転シミュレータ上で視覚的に表示し、支援対象車両のみならず後方車群の追突リスク低減効果があることを示した。また、衝突被害軽減ブレーキなどの運転支援システムとの併用により、追従走行の安全性向上にも寄与すると

ものへの環境学科4年(鈴木宏典研究室)の小関真央君が3月6日、自動車技術会関東支部主催「2017年度学術研究講演会」においてベストペーパー賞を受賞した。受賞論文題目は「車群走行状態の動的推定に基づく減速予見情報提示

# 信号処理学会 学生論文賞受賞

情報工学科4年(松浦研究室)の馬馬帆南さんが3月7日、ホノルルで開催された信号処理学会主催国際ワークショップにおいて、学生論文賞を受賞した。受賞論文題目は「複数の自動車回収車を用いた自転車再配置問題に対する局所探索法の研究」。



近年、新交通システムとしてバイクシェアリング(自転車共同利用)が注目されている。乗り捨てによって生じる駐輪場ごとの自転車の台数過不足を解消するため、複数の回収車によって再配置作業が行われている。本研究では、回収車の効率的な経路を決定するための局所探索法を提案。最短移動距離で効率よく回収車が巡回できる経路を短時間で探索できるとして高く評価された。受賞に際し馬馬さんは「指導いただいた先生方に大変感謝している。この受賞を励みに、大学院進学後も研究活動に励みたい」と意欲的に語った。

期待されている。受賞に際し小関君は「指導の先生方、友人に心から感謝している。今後も研究を続け、自動運転車への技術応用を通じ、予防安全性向上などに貢献していきたい」と抱負を述べた。

# 電気学会ワークショップ 優秀論文賞受賞

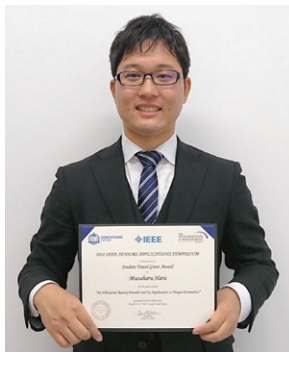
創造システム工学科の浦川禎之教授が3月7日、電気学会産業応用部門のワークショップSAMCON2018において優秀論文賞を受賞した。受賞論文名は「限定極配置法を用いた



および産業用ロボットにおいて検証した。メカトロニクス機構が小型軽量化するに伴い振動の影響が大き

# 米国電気電子学会 学生奨励賞受賞

電子情報メディア工学専攻修士2年(於保研究室)の原正東君が3月13日、米国電気電子学会



本研究では新方式のロータリエンコーダを提案した。超音波を用いた方式により、一つのセン

サで角度、回転数、回転方向が検出できることを実証。併せて、回転トルクも推定可能であることを示した。ロータリエンコーダは自動車をはじめ各種機械に利用されており、超音波方式の利点を見極めたうえで、様々な産業機器等への応用が期待される。

# 地域活性化に協力する学生たち

## 「宮代町の飲食店お得券」制作協力

宮代キャンパスや駅周辺の飲食店が紹介されたミニ情報誌。学生が掲載店で提示すると割引や大盛り無料などの特典が受けられる。埼玉県宮代町の商工業活性化を考えるワークショップによって制作され、建築学科吉村研究室の学生が企画、デザイン、各店との交渉を担当した。携帯に便利な豆本型で、イラストと写真を合成した紹介記事が特徴的。今年度版は3月下旬に発行され、新入生をはじめ多くの在学生在に利用されている。



今年度版は3月下旬に発行され、新入生をはじめ多くの在学生在に利用されている。

# 地域交流施設の塗装作業を体験

建築学科3年の田口陸斗さん、張寧さんが埼玉県杉戸町の杉戸宿魅力発信拠点施設「第2流灯工房」の改修作業に協力した。施設は「古利根川流灯まつり」の主会場であり、3月末に改修工事が完了した。



学生は柱や梁を古民家風に見せる塗装作業に従事した。同町の建築技術職員の指導を受けながら、実際の建築現場で作業を行ったことは、彼らにとって貴重な体験となった。

# 証明書の発行が スムーズに

4月より本館1階教務課前に自動証明書発行機が設置された。

従来は窓口にて申請が必要であった学生旅客運賃割引証、在学証明書、成績証明書、卒業(修了)見込証明書をはじめ、定期試験の仮受験票、追試験申請書が自動で即時に発行可能となった。英文による証明書や各種資格証明書の発行を教務課窓口に申請する際の申請書も出力できる。



本機の利用時間は休日を除く9時17時。各種証明書の発行には学生証と手数料が必要となる。

# ビジネスプランコンテスト 作品募集開始

斬新で実現可能なビジネスプランを学生から募集。事業内容、経費や利益など企画説明のプレゼンをもとに選考を行い、優秀なプランには各賞が授与される。

一次応募締め切り：7月17日9:00  
詳細は産学連携起業教育センター、またはWEBサイトでご確認いただきたい。  
<http://nit-bc.com/bpc2018/>



宮代より 213号  
広報みやしろの歴史を郷土資料館で展示  
昭和34年7月20日に「公民館」というタイトルで町のあり方や公民館の社会的教育的活動を広く知ってもらうために創刊された広報みやしろ。現在に至るまで町に関する様々な話題や情報を発信し、見る国際会議での研究発表

◆桑原拓也准教授(機械工学科) / 出張先「アメリカ」(6/17~6/22) / 目的「静電気関連の国際会議での研究発表」  
◆池添泰弘教授(応用化学科) / 出張先「フランス」(6/25~7/1) / 目的「磁場材料分析プロセス会議にて研究発表」  
◆田中隆治講師(共通教育学群) / 出張先「カナダ」(8/2~8/27) / 目的「カナダ語学研修「実践異文化理解」の引率および学生指導」  
◆フレッド・チンバ講師(英語教育センター) / 出張先「カナダ」(8/2~8/27) / 目的「同

# 編集後記

野村克也氏は元プロ野球選手。監督を歴任。契約金ゼロで南海ホークスに入団。テスト生としてプロ野球史上に輝く最高実績を残した。皆さんも野球解説やパフェティール番組で話を聞いたことがあるだろう。彼の著書「敵は我に在り」には人間が一人前になるために、どうしても歩かなければならない道があるのです。その道程が短い。長い。それだけの違いではないでしょうか。この一節がある。これは、苦勞した人間に、運はあさりと微笑まない。忍耐し努力して初めて前途が開けて行く。この意味に。文は更に以下のように続く。「私の場合は、それが他の選手より少し長かったというだけのことです。」まさに道程は長い。がいずれ花は開くもの。だと述べられている。長嶋茂雄氏をヒマワリに例え自らを月見草と卑下した彼の人生観そのものだ。人生は人それぞれの価値観で成り立っている。と改めて実感する。【信

- ### 人事異動
- 【任命】(4月1日付)
  - ◆大学院技術経営研究科 長 小田恭市教授
  - ◆大学院技術経営研究科 学務長 佐々木勉教授
  - ◆大学院技術経営研究科 教務委員長 清水弘教授
  - ◆工業技術博物館館長 松野建一客員教授
  - ◆建築技術センター長 兼 黒津高行教授
  - ◆工業教育研究所長 渡辺勉教授
  - ◆教職教育センター長 兼 渡辺勉教授
  - ◆高大連携プロジェクト 室長兼担 當間喜久雄教授
  - ◆広報室長兼担 菊地信一教授
  - ◆生涯学習センター長 兼 担 菊地信一教授
  - ◆地域連携統括センター 長兼担 菊地信一教授
  - ◆LCセンター長 佐藤

- ### 国外出張
- ◆松永浩徳教務部事務部長(教務部) / 出張先「カナダ」(4/24~4/30) / 目的「カナダ研修所での修了式ならびにレスブリッジカレッジでのコンボケーション」
  - ◆鈴木宏典教授(ロボット工学) / 出張先「オーストラリア」(4/28~5/4) / 目的「第28回オーストラリア道路交通研究委員会国際会議での研究発表」
  - ◆黒津高行教授(建築学) / 出張先「スペイン」(4/28~5/8) / 目的「ハヌマンド力王宮内における現地調査

- ◆内田祐一教授(応用化学科) / 出張先「台湾」(5/20~5/23) / 目的「中国鉄鋼協会「日本鉄鋼協会間のスラグ有効利用に関する技術交流会」での講演
- ◆安原鋭幸教授(ロボット工学) / 出張先「台湾」(5/22~5/25) / 目的「国際プラスチック成形加工学会にて研究発表
- ◆内田祐一教授(応用化学科) / 出張先「ウクライナ」(6/9~6/17) / 目的「第3回金属生産プロセスおよび材料の進歩に関する国際会議での研究発表」
- ◆出張先「ウクライナ」(6/9~6/17) / 目的「第7回製鋼の科学と技術に関する

# 訂正

212号4面「大川陽康奨学金奨学生名簿」に誤記がありました。お詫びして訂正いたします。武捨秀紀さん、菅公将さんの専攻  
【誤】機械システム工学  
【正】環境共生システム